学校番号	４１０

令和５年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「美術３」　（光村出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題作品ごとに到達目標と観点を提示します。それを基に自分の主題を生成し、自分の目で見て、自分の頭で考えて、自分の行動で制作してください。
・「自分とは何か」という問いを深め、表現することで自分をより深く理解していきましょう。
・「他者と自分の関わり合い」を意識し、表現することで他者とのつながりを認識しましょう。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートやレポート、作品で評価します。課題作品の提出期限を守りましょう。
・美術の授業では、感性を高め、表現力と鑑賞の能力を伸ばし、美術が生徒みなさんの生涯にわたり、心や生活を豊かにしていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせ、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	授業態度の観察 ワークシート 作品	制作状況の観察 ワークシート 作品	制作状況の観察 ワークシート 作品	鑑賞態度の観察 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	色彩構成	モチーフを設定し、色面構成をする。	○	○	○		a: デザインの多様な表現に関心をもち、自らが設定したモチーフの形や色彩などの造詣要素の美しさや調和を考え、主体的に主題を生成し、創意工夫して構想を練ろうとしている。 b: 主題を基にアクリル絵の具を使用した表現技法や、自らが設定したモチーフの形や色彩などの造詣要素の美しさや調和を考え、創造的な表現の構想を練っている。 c: 意図に応じてアクリル絵の具を使用した表現方法を工夫して、モチーフの特性や効果を生かして表現している。	授業態度 制作状況 作品
2学期	立体造形	物の構造を理解し、造形する	○	○	○	○	a: 作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めようとしている。 b: どのような主題、表現方法で作品にしていくかを独創的に考え、構想を練っている。 c: 自らが考えた主題を表現するために表現方法を工夫し、必要な技能を身に付け、個性を生かした作品となっている。 d: 様々な主題、表現方法、制作方法の理解を深め、そのよさや美しさを味わっている。ほかの生徒の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	鑑賞態度 レポート 授業態度 制作状況 ワークシート 作品
3学期	卒業制作	自分で一から課題を設定し、作品を制作する。 アイディアワークシート 制作	○	○	○		a: 美術の創作活動の喜びを味わい、多様な表現に関心をもち、主体的に課題とその主題を生成し、表現方法を工夫しながら主題を追及して表現しようとしている。 b: 主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c: 目的や意図に応じて、表現方法を工夫し、計画を基に主題を追及し表現している。	授業態度 制作状況 ワークシート 作品

※　表中の観点について　a:美術への:関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力

c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。